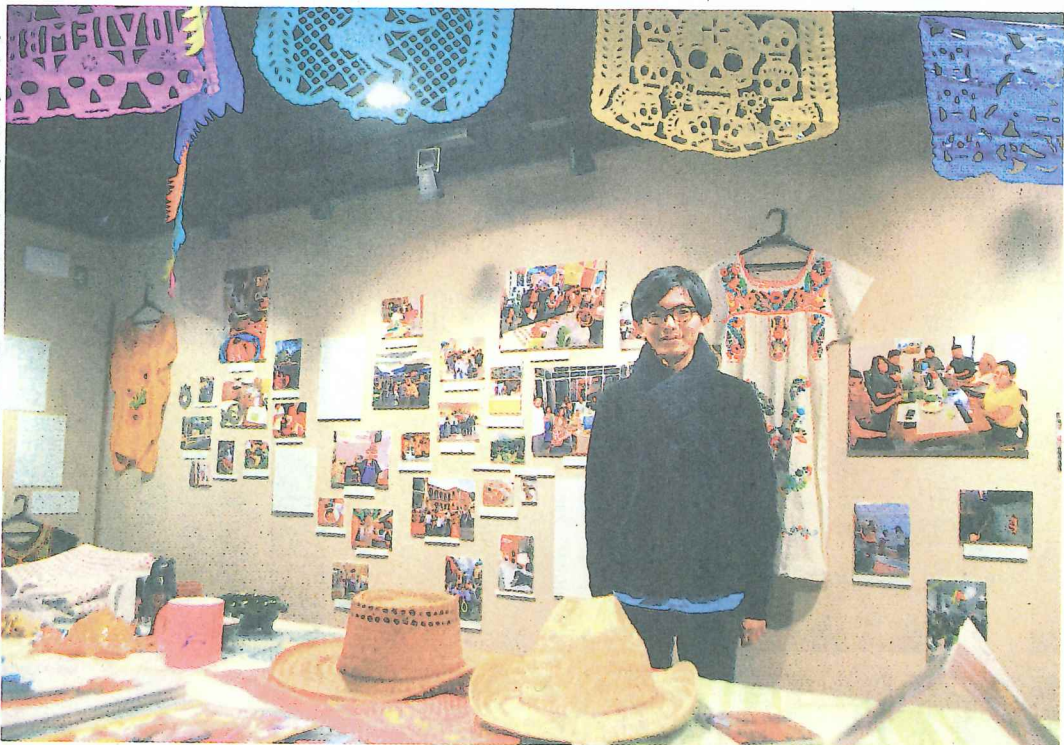


弘前市文京町の弘前大学資料館で、企画展「A qui esta tu casa (アキ・エスタ・トゥ・カサ) ~あなたの家はここにある~メキシコ・オアハカ州の人と土地」が開かれている。メキシコ南部オアハカ州のベニート・フアレス州立大学言語学部で2年間日本語教師をしていた泉優希さん(25)＝秋田市出身＝の目を通し、現地の文化や人々の魅力について紹介している。2月10日までで、同日正午からはギャラリートークも行われる。(西尾瑛)

# メキシコの魅力紹介

## 暮らしぶりや衣装、織物、器、木彫り…

オアハカ州での教員生活を通し現地の文化や人々の暮らしを紹介する泉さん



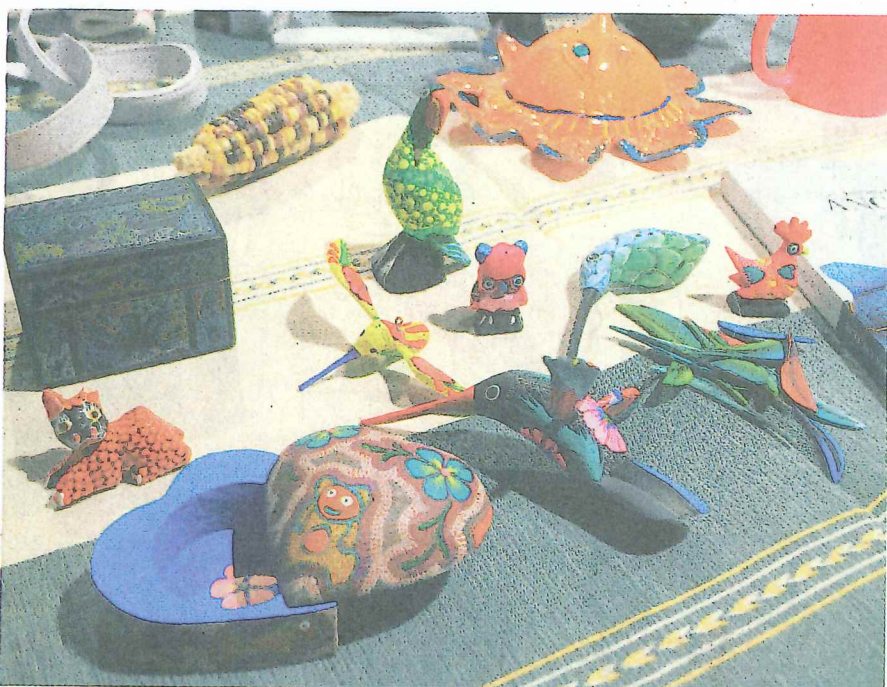
### 秋田出身 弘大資料館で企画展 泉さん

ラテンアメリカに興味を持っていた泉さんは、3年次の春休みにベニート・フアレス州立大への短期留学を経験。人の生きるエネルギーに魅了され、同大から弘大に来ていた教員に直談判し、2018年の弘大卒業後2年間、現地で教員生活を送った。

企画展は19日に始まり、現地へ行くきっかけを作ってくれた教員の家族や大族舞踊の祭典「ゲラゲツツア」や、日本の工業が盛んなオアハ



テキーラの原料であるサボテンの一種が刺しゅうされたシャツ



ハチドリなどをモチーフとした木彫りには細やかで鮮やかな色彩が施されている

も身近で見ることが出来る。今回の企画展のタイトル「アキ・エスタ・トゥ・カサ(あなたの家はここにある)」

「は、一緒に過ごした時間の長さにかかわらずたくさんの方が現地で掛けてくれた言葉だという。『おおらかに受け入れてくれる人々、土地柄がある』と泉さん。他にも『恩を感じていてもそれは私たちに返す必要はない。あなたが誰かを手伝いたいと思ったら、その人に何かしてあげてほしい』と声を掛けられたことも強く印象に残っているという。『展示を通し魅力的な現地の人々に触れていただけたら』と話した。



各地域の踊りを表現した切り絵

※この記事は陸奥新報社提供です。

この画像は、当該ページに限って陸奥新報の記事利用を許諾したものです。

転載ならびにこのページへのリンクは固くお断りします。

[問い合わせ先]

弘前大学資料館 jm3432@hirosaki-u.ac.jp